

学びの広場

社会教育関係事業を振り返って

今年度、新たに取り組んだ事業や
改革を試みた社会教育関係事業について特集します

生涯学習サポートセンター 「はじめての一步」開設

町民の自発的な学習意欲を支援する目的で10月15日に開設した「はじめての一步」に、多くの問合せがありました。その中に、「近くで運動がしたい」との相談がありました。その際は、活動できる時間帯、希望する運動の種目などを確認し、紹介する団体の構成年齢や、実際の活動状況などを踏まえた情報を数団体紹介しました。

また、家庭教育を支援する団体からの相談では、『自分たちの活動を知っていただき、仲間を作りたい』との相談がありました。この件では、団体を紹介するための方法として、町民の方に理解して

いただくため、普段、自分たちが実施している勉強会を一般公開していくことで、対応していただきました。

これからの相談として、『退職後に地域で何か活動したいのですが・・・』などの問い合わせが予想されます。このような相談、大歓迎です。

はじめの一步は、今後も生涯学習を通じた人と人のつながりを大事に活動していきます。

何事も『出会い、きっかけは、行動しなければ始まらない』のです。

町民大学へ小中高校生

第3回町民大学は「夢は野球と共に」と題し、前桐蔭学園高校野



土屋前監督から熱血指導

球部監督の土屋恵三郎氏を講師にお招きし開催しました。

折角の機会です。少年野球チーム松田キヤッスルズ、松田中学校野球部、立花学園高校野球部にも参加の案内を送ったところ、144人の参加を得て盛会に開催できました。また、大人の方からも好評で、『活気のある講座であった』とのお意見をいただきました。

なお、講座から3週間後の土曜日に、土屋前監督から松田キヤッスルズに、実技指導をしていただけるといいう、大変うれしい広がりもありました。

今後、小中学生が参加できる企画を考えたいと思います。

チャレンジデーにチャレンジ

チャレンジデーは、毎年5月の第4水曜日に15分間継続して運動する参加者を同規模の自治体で住民参加率として競い合うイベントであり、全国100以上の市町村が実施しています。



園児と地域の大人も一緒に楽しく体操しました!

昨年、初めて参加したチャレンジデーに、平日にもかかわらず4885人(住民参加率42%)に参加していただきましたが、対戦相手である北海道東神楽町の5075人(住民参加率52%)が勝ちました。

開催後のアンケートでは、『今まで話ができなかつた近所の人とチャレンジデーを通じて話ができようになつた』、『ま

参加型文化祭へ

今までの文化祭は、文化活動を行う方々が作品を展示し、演奏などを披露し、練習の成果を発揮する文化祭でした。そこに、チョット待ったを掛けたのが、町の生涯学習・社会教育を推進する手法に関する調査・研究等を行う社会教育委員でした。



子どもたちにも人気があったトールペイント体験

社会教育委員は、『自己満足の文化祭は繁栄がない。文化祭は、来場者に自分たちの活動の楽しさを伝え、多くの仲間を集める機会にすべき』と提案

し、改善方法を教育委員会と共に検討しました。そして、昨年の文化祭では、来場者に自分たちの活動を体験していただき、さらに、仲間を増やすような取り組みを行う団体などに参加していただきました。



バルーンづくりを行い、アットホームな団体を紹介した松田カンフークラブ

公民館と町民文化センター

本町の公民館は、町民文化センターと併設されています。展示ホール、学習室、会議室、調理室などはすべて公民館の施設です。ちなみに、町民文化センターは大ホール、楽屋、練習室などが該当します。

改めてお伝えするのは、『地域の学習拠点』として『松田町立公民館』という名前をもつと使っているところと考えているからです。公民館登録団体数は40団体で多くの方が利用しています。ちよつと古い響きがある『公民館』ですが、大切に育てていきたいと考えています。

社会教育に対する皆さんの声を聞かせてください。

今回は、今年度の活動を少し紹介させていただきます。町では、地域の方が持つ力(能力)を地域の方に反映できる「知の循環」を通じた社会教育を特に推進しています。

そのためには、『こんなことができないかなあ』、『こんなことだったらできます』などの情報が必要です。そして、この情報こそが知の循環を支える柱となりますので、ぜひとも情報提供してください。また、生涯学習・社会教育に関するご相談・ご意見・ご要望も併せてお寄せください。

【問い合わせ】教育課 生涯学習係
☎(83)7023